

令和 5 年度

「運営に関する計画」

大阪市立喜連西小学校

令和 5 年 4 月

大阪市立喜連西小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画（以下＝計画）を踏まえた【安全・安心な教育環境の実現】、【豊かな心の育成】での中期目標である「規範意識」「生命の尊重」「仲間づくり」について、いずれも目標を達成した。また、令和 4 年度全市共通目標である「いじめの解消」「規範意識」「暴力行為」「不登校」について、いずれも目標を達成した。

それらの目標達成の主因は、子どもの自己肯定感の高まりを重視した「チーム喜連西」として地域・教職員それぞれの持ち味を生かして教育活動を行ってきた成果と言える。平成 30 年度より大阪教育大学教職大学院との協働研究『エビデンス・ベースの学校改革』を実践し「3つの喜連西愛」として児童の行動目標を設定し、教職員全員が共通理解して学業支援と行動支援を継続して取り組んだ。また、生活指導、いじめ対策の定期的な会合においても自己肯定感に関連した情報共有を行い、全教職員による指導を継続した。それらの結果、互いを支え認め合える集団を育てることができた。

自己肯定感の高まりを重視し、互いを支え認め合える集団の育成を継続していくことが、安全・安心な教育を推進する要諦と考えている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

計画を踏まえた【誰一人取り残さない学力の向上】、【健やかな体の育成】での中期目標である「わかる楽しさを味わえる授業」「深め広げる話し合い活動」「生活習慣」「運動志向」について、いずれも目標を達成した。令和 4 年度全市共通目標である経年調査における相対的な数値については目標達成できなかったが、課題とした運動は記録を更新できた。

それら目標達成の主因は、子どもの主体性を重視した指導の成果と言える。令和 4 年度では、子どもの実態を踏また授業改善を推進するために、国語科を中心とした指導法の研究、一人一授業（全教員が公開授業を実施）の取り組み等を行った。また、コロナ禍における子どもの保健指導、給食指導、体育指導等に注力し、子どもの健康に対する意識を高めた。それらの結果、子どもの学力向上への意欲を高め、健康に関する基本的な生活習慣、体力を向上させることができた。

子どもの学力向上に向けて主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と、健康に関する意識を高める保健指導、給食指導、体育指導等の継続と工夫が課題である。

【学びを支える教育環境の充実】

ICT の活用について、本校では大阪市の方針に基づき段階的に導入し、その有効活用を図つてきている。令和 2 年度には、全学級において大型モニターを使用したデジタル教材の活用ができた。令和 3 年度には一人一台の学習者用端末の導入を円滑に推進した。同年 1 月には、子どもが毎日学習者用端末・タブレットを持ち帰るシステムを構築し、授業と家庭学習で活用できるようにした。今後も、ICT の活用に積極的に取り組み、子どもの学習を充実させることが課題である。

令和 3 年度より学校協議会において、保護者や教職員にとって過度な負担がなく、それが健康であることが「子どもにとってよりよい環境」ということについて了解を得られた。教職員の働き方改革とともに保護者の負担軽減という観点で、学校行事を中心に教育活動を見直し始めている。この見直しを継続し、保護者、教職員に過度な負担のないように教育活動を工夫し実践していくことが課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上 にする。

(R4 学力調査 85.8%、校内調査 77.6%)

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上 にする。

(R4 学力調査 79.7%、校内調査 79.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(1)】

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率 5 割以下の児童を、令和 4 年度より 5 ポイント減少させる。 (R3 学力調査 5 割以下 国語 27/59 算数 18/59)

(R4 学力調査 5 割以下 国語 29/57 算数 23/57)

- 令和 7 年度の小学校経年調査及び校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 70%以上 にする。 (R4 経年調査 43.0%、校内調査 77.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】

- 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び校内調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を 83%以上 にする。

(R4 全運調査男子 71.4% 女子 34.4% 校内調査（男女）70%)

- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合及び校内調査（保護者）を令和 7 年度調査において 92%以上 にする。

(R4 学力調査 朝食 90.6% 就寝 75.1%、起床 90.6%、
R4 校内調査（保護者）90%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 100%以上 にする。 (R4 校内調査 87%)
- ゆとりの日を週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 5 日以上、冬季休業期間中は 3 日以上 設定する。
- 令和 7 年度末の校内調査において、児童一人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和 4 年度より 2 冊増加させる。 (R3 23 冊 R4 21.5 冊)

3 本年度の自己評価結果の総括

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 89%以上 にする。
(R4 経年調査 88.2%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
(R4 1/400)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(R4 0人)

学校の年度目標

- ① 本年度の校内調査（児童）の「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上 にする。
(R4 校内調査 77.6%)
- ② 本年度の校内調査（児童）の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上 にする。
(R4 校内調査 79.4%)

未来を切り拓く学力・体力の向上(1)

全市共通目標（小学校）

- 小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりしていることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 65%以上 にする。
(R4 経年調査 43.0%)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。
(R4 経年全国比国語 3年 0.75 4年 0.87→0.87 5年 0.76→0.76)
(算数 3年 0.87 4年 0.89→0.89 5年 0.75→0.75)
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 69%以上 にする。
(R4 経年調査 67.1%)
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上 にする。
(R4 経年調査 80.2%)

学校の年度目標

- ① 校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりしていることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上 にする。
(R4 校内調査 78.0%)
- ② 本年度の校内調査（児童）の「どんなことでも、最後まであきらめずにやり遂げようとしている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上 にする。
(R4 校内調査 87.1%)
- ③ 本年度の校内調査（児童）の「学ぶことが楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上 にする。
(R4 校内調査 77.6%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】

全市共通目標（小学校）

- 本年度の小学校学力経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を78%以上にする。
(R4 経年調査 77.9% 校内調査（男女）70%)

学校の年度目標

- 本年度の校内調査（保護者）の「子どもは早寝 早起き 朝ごはんの習慣が身についている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を87%以上にする。
(R4 校内調査（保護者）85%)
- 本年度の校内調査（児童）の「手洗い・うがいをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
(R4 校内調査 93%)
- 本年度の校内調査（児童）の「給食を残さないように食べている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。
(R3 校内調査 91%)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

- 本年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を89%以上にする。
(R4 校内調査 87%)
- 本年度、ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業期間中は3日以上設定する。

学校の年度目標

- 本年度の校内調査において、児童一人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和4年度より2冊増加する。
(R4 21.5冊)

大阪市立喜連西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【安全・安心な教育の推進】	年度目標	達成状況
全市共通目標（小学校）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>89%以上</u>にする。 (R4 経年調査 88.2%) ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (R4 1/400) ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R4 0人) 		
学校の年度目標		
<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度の校内調査（児童）の「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>78%以上</u>にする。 (R4 校内調査 77.6%) ② 本年度の校内調査（児童）の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上</u>にする。 (R4 校内調査 79.4%) 		
	年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】		
いじめや暴力行為・不登校傾向が見られる児童の実態を把握し、学校内外の連携をしながら、課題解決に向けた取り組みを進める。		
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の共通理解を図るとともに手立てを考え実践を進めるために、月1回の児童理解のためのネットワーク（児童の生活面に関する意見交換の場）、月に1回以上の児童の実態について報告し合う場やいじめ対策委員会を開く。 	
取組内容②【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】		
安全に関する訓練・指導を継続したり、校内の安全点検を定期的に実施したりする。		
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する訓練や指導を年3回以上、安全点検を月1回行い、安全で安心できる教育環境を整える。 	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】		
一人一人の児童が力を発揮し、その良さを認め合える集団づくりをめざす。		
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営を充実させるため、毎学期、学級目標の実現に向けて係、当番等の役割分担。週に2回以上それぞれのよさについて伝える機会を設ける。 ・学校行事、クラブ活動、委員会活動、学級活動の年間指導時間の内、児童にとって主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の時間の割合を50%以上にする。(校内調査) ・年度末の校内調査（児童）における「友だちのがんばりやよさを見つけることができた」に対して、肯定的に答える児童の割合を <u>85%以上</u>にする。(R4 83%) 	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】		
インクルーシブ教育推進のために、個別の支援・指導計画を活用し、誰もが安心して過ごせる学校、学級の環境を整える。		
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解研修を学期に2回以上実施し、教職員間の共通理解を図る。 ・特別支援教育研修会を実施し、配慮の必要な児童への支援に生かす。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立喜連西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上(1)】	年度目標	達成状況
全市共通目標（小学校）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を <u>65%</u> 以上にする。 (R4 経年調査 43.0%) ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。 (R4 経年全国比国語 3年 0.75 4年 0.87→0.87 5年 0.76→0.76) (算数 3年 0.87 4年 0.89→0.89 5年 0.75→0.75) ○ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>82%</u> 以上にする。 (R4 経年調査 80.2%) 		
学校の年度目標		
<ul style="list-style-type: none"> ① 校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上</u> にする。 (R4 校内調査 78.0%) ② 本年度の校内調査（児童）の「どんなことでも、最後まであきらめずにやり遂げようとしている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>88%以上</u> にする。 (R4 校内調査 87.1%) ③ 本年度の校内調査（児童）の「学ぶことが楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>78%以上</u> にする。 (R4 校内調査 77.6%) 		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 国語科を中心に主体的対話的で深い学びについて研修し、全教育活動で実践する。		
指標 · 学校全体で主体的対話的で深い学びに向けた研修を進める。 国語科研究指導案検討会 6回、研究授業（討議会含む）6回、 一人一授業実施率 90%以上		
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 全教育活動で、自分の考えを深めたり広げたりする話し合い活動を意図的に取り入れる。		
指標 · 本年度の校内調査（児童）の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上</u> にする。 (R4 校内調査 78.0%)		
取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 学級担任と習熟度担当、専科担当、T2 担当が連携して、一人ひとりに応じた指導を最大限実施する。		
指標 · 本年度の校内調査（児童）の「学ぶことが楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>78%以上</u> にする。 (R4 校内調査 77.6%)		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立喜連西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】 年度目標		達成状況
市共通目標（小学校） <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の小学校学力経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を <u>78%以上</u>にする。 (R4 経年調査 77.9% 校内調査（男女）70%) 		
学校の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の校内調査（保護者）の「子どもは早寝 早起き 朝ごはんの習慣が身についている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を <u>87%以上</u>にする。 (R4 校内調査（保護者）85%) ○ 本年度の校内調査（児童）の「手洗い・うがいをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>95%以上</u>にする。 (R4 校内調査（児童）93%) ○ 本年度の校内調査（児童）の「給食を残さないように食べている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>93%以上</u>にする。 (R4 校内調査（児童）91%) 		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 子どもの「手洗い・うがい」「早寝・早起き」「朝ごはん」についての意識を高める。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・年に3回、チェックシートを活用した健康週間を実施する。 ・定期検診時等における養護教諭による保健指導を年間各学級1回以上行う。 		
取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 保護者の「手洗い・うがい」「早寝・早起き」「朝ごはん」についての意識を高める。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、保護者の意識を啓発する保健だよりの発行 		
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 食育を充実し、食と健康についての意識を向上させる。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回食育の日を設定し、全校で食育に関する指導を実施する。 		
取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 体育指導を充実し、運動と健康についての意識を向上させる。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・運動場、体育館の体育倉庫の整備を年間3回以上行う。 ・児童の運動に対する関心を高めるため、「新体力テスト」「なわとびタイム」を実施する。 		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立喜連西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【学びを支える教育環境の充実】	年度目標	達成状況
全市共通目標（小学校）		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を <u>89%以上</u>にする。 (R4 校内調査 87%) ○ 本年度、ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業期間中は3日以上設定する。 		
学校の年度目標		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度の校内調査において、児童一人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和4年度より2冊増加させる。 (R4 21.5冊) 		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末、大型モニターなどのICT機器を活用した指導を工夫し実践する。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・大型モニターなどのICT機器を活用した授業を週2回以上設定した学級を80%以上にする。 ・本年度の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を <u>89%以上</u>にする。 	(R4 校内調査 87%)	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日や学校閉庁日の設定、学校行事実施時間の短縮等により、働き方改革を推進する。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業期間中は3日以上設定する。 		
取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 読書指導、学校図書館の運営などを工夫して、読書への関心を高める。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の校内調査（児童）の「本をよく読んでいる。読むようになっている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>65%以上</u>にする。 (R4 校内調査 63%) 		
取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 保護者・地域等への情報発信、保護者・地域等と連携した行事や授業を工夫する。		
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・学校HPを週3日以上更新する。 ・学校だより、学年だより等を月1回、地域や家庭に配布し情報発信する。 ・昔あそび、防災訓練など地域の方をGTとした授業など地域と連携した行事や授業を年間1回以上実施する。 		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析